

助言者 富山 哲矢（南信教育事務所学校教育課 指導主事）

司会者 徳武 清花（栄村立栄小学校）

発表者 五味 園子（飯田市立松尾小学校） 安藤 睦（上松町立上松中学校）

1 発表の概要

〈松尾小学校〉

（1）情報センターとしての図書館環境

①教科書に掲載されている本と関連本の設置、パスファインダーリストの活用②図書館配置
図・分類板の工夫 ③市町村や行事等のパンフレットの保存 など

（2）利用指導の実際

①分類を知る指導・・・2年生に、本探しゲームを通して分類の指導を行った。

②調べ学習の方法を知る指導・・・3年生に、クイズカードを使いながら、百科事典の引き方
の学習を行った。調べる習慣がつくように、継続が必要。

③公共図書館利用のための指導・・・1・4年生に近くの公共図書館の利用指導をした。

〈上松中学校〉

（1）読書指導

①様々な分野からの本を紹介する。②読み聞かせ・ブックトークの実施

③POPやブラックボードでの本の紹介 ④生徒会活動

（2）学習支援

①パスファインダー・・・学年行事（登山）、職業、進路など資料を集める。

②図書館利用計画表の活用 ③クラス貸し出し

（3）場としての図書館 気軽に立ち寄れる図書館をめざして

季節や学校行事に関連した企画展示

2 討議の概要

- ・教科書教材と関連本の設置がよい。パスファインダーの取り組みは、学習単元の意欲づけや教師の教材研究にもつながる。
- ・司書教諭や司書のやる気によって、情報センターとしての図書館の機能が違ってくる。
- ・調べ学習は、図書館活用とインターネットの両方のよさを生かしていきたい。
- ・百科事典の使い方をクイズを通して学ぶのは、楽しく意欲的に学ぶことをできていい。
- ・司書教諭と司書、担任は、それぞれの立場や子どもにつけたい力を理解して連携をとっていきたい。
- ・司書の配置が難しい学校もあるが、ほっと落ち着ける場所としての図書館環境は、人的環境が非常に大切である。
- ・あまり学校図書館と公共図書館とのつながりがないが、連携していくことでより情報センターとしての機能が高まるのではないか。

3 まとめ（助言者のご指導より）

・全国学力調査の問題から、今求められている力は、「目的・必要に応じて情報をどのようにさがすのか。」という情報の収集方法について考え、実践する力である。そのために何に問いをもち、何を探すのかという課題を決めることが大切である。

・レポートより示唆された事・・・〈小学校〉教科書の関連本を探せるようにしていたことは、関連付けて読む力につながる。10進分類法や百科事典の調べ方の学習は、図書館に親しみ、情報収集のやり方を身につける有効な手段である。〈中学校〉多感な時期だからこそ、いい本に出会ってほしい。いい本とは、主人公に感情移入でき、問題解決しながら結末に納得がいくような本であり、そのことにより、自己認識力（自己コントロール力）が高まる。図書館運営のアイデアで、本とふれあい、本を通して学ぶ時間を大切にしてほしい。